

教 科	国語	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	2	全 選	全
科 目	現代文								
使用教科書	新版現代文（教育出版）								
副 教 材 等	新訂総合国語便覧（第一学習社） 確かめやすい漢字の総仕上げ（浜島書店）								

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 近代以降の様々な文章を読む能力を高めます。 2 ものの見方、感じ方、考え方を深めます。 3 進んで発表し読書することによって人生を豊かにする態度を育てます。
評 価 方 法	1 中間考査と期末考査の成績、常用漢字テストの成績、プリント・提出物・ノートなどの内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は、中間考査と期末考査の成績が70%、漢字テストの成績が10%、プリント・ノートなどの提出物の内容と発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度が20%です。
生徒へのアドバイス	「現代文」は、近代以降の様々な種類の文章を読みながら、1年間の学習をとおして学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などを良く聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加してください。また、毎時間、国語便覧や国語辞典を必ず用意しておいてください。評価については、上で説明したように様々な観点から行います。普段の授業の1時間1時間を大切にしてください。

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 進んで自分の意見や考えが表現できているか。 2 言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書しようとしていたりしているか。 3 読書に対する意欲を自ら喚起し、読書力を高めようとしているか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
話す・聞く能力	1 日常的な課題に応じて様々な情報を収集し活用してすすんで表現しようとしているか。 2 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合おうとしているか。 3 文章の理解を深め、興味・関心を広げるために創作的な活動を行おうとしているか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
書く能力	1 論理的な文章を読んで、書き手の考え方やその展開の仕方などについて意見を書こうとしているか。 2 目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、すすんで表現しようとしているか。	1 プリント 2 作文 3 定期考査 4 ノート
読む能力	1 論理的な文章を読んで書き手の考えや要旨を的確に捉えることができていないか。 2 文学的な文章について、人物・情景・心情などを的確に捉え、表現を味わおうとしているか。 3 様々な文章を読むことを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり、発表しようとする姿勢があるか。	1 プリント 2 定期考査 3 ノート
言語事項	語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえているか。	1 プリント 2 定期考査 3 漢字テスト

### 3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1 随想 「大人への丸太」 「想像への畏敬」	・ 随想の基本的な読み方を習得します。 ・ 着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わいます。
		5	2 小説(1) 「山椒魚」	・ 主人公の心理を読み取ります。 ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようにします。
	期 末	5	評論 「コミュニケーションとしきり」	・ 評論の基本的読み方を習得します。 ・ 作者の感じ方や考え方を文章から理解します。 ・ 自分の体験と重ねて作者の考えを理解出来るようにします。
		6	詩歌 「竹」 「永訣の朝」	・ よく知られた言葉をもう一度見直すことによって、言葉が人間のあり方とどのように結びついているかについて、理解を深めます。
		7		・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようにします。
	2 学期	中 間	9	評論二 「蛙は一匹か数匹か」
10				
期 末		10	小説二 「グレイの層」 詩歌 「短歌と俳句」	・ 主人公の心情を自分に引きつけて理解します。 ・ 小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込みます。 ・ 小説の持つ緊密な構成や文体を読み味わいます ・ 近現代の代表的な作者の作品を鑑賞することで、短歌・俳句を自作する参考にします。
		11		・ 短歌と俳句の違いについて、認識を深めます。
		12		・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようにします。
3 学 年 末	学 年 末	1	評論三 「虚構のリアリズム」 「地図の想像力」 実用の文章	・ 身近な実例を通して、日常生活を見直す契機とします。 ・ 具体例を通して、現実と想像力との関係について理解します。
		2		・ 実用的な目的を果たすためにはどのような文章が適当か、判断する力を養います。
		3		・ 基本的な文章表現を身につけます。 ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようにします。
課題提出物等		1	授業の中で使用するプリントや作文など	
		2	ノート	
		3	夏休みの読書感想文	
		4	夏休みの課題（テキスト）	

教 科	国語	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	2	全 / 選	全
科 目	古典								
使用教科書	高校生の古典（明治書院）								
副 教 材 等	常用国語便覧（浜島書店） 基礎からの古典文法（第一学習社）								

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<p>1 長年にわたって伝えられ、現代においても、なおその価値を保っている古典としての古文と漢文を読む能力を身につけます。</p> <p>2 古典に描かれた現代に共通するものの見方、感じ方、考え方や、古典独特のものの見方、感じ方、考え方を的確に読み取る能力を身につけます。</p> <p>3 古典の豊かな世界に触れ、古典に親しむ態度を身につけます。</p>
評 価 方 法	<p>1 中間考査と期末考査の成績、プリント・提出物・ノートなどの内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。</p> <p>2 評価の内訳は、中間考査と期末考査の成績が80%、プリント・ノートなどの提出物の内容と発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度が20%です。</p>
生徒へのアドバイス	<p>我々が古典を読むためには、その内容を現代語に置き換えて理解するために、語釈や文法の理解といった独特な作業が必要となってきます。また同時に現代文学を読む場合と同じように、内容や表現を深く読み味わおうとする姿勢も大切です。担当者からの指示や説明などを良く聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加してください。また、毎時間、国語便覧や古語辞典、文法書を必ず用意しておいてください。教科書は3年生でも同じもの「後編」を継続使用しますので、無くさないようにしてください。</p>

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<p>1 進んで音読・話し合い・調べものなどの学習活動に取り組んでいるか。</p> <p>2 積極的に古典に親しんでいるか。</p>	<p>1 学習活動への参加の姿勢や態度</p> <p>2 授業の中で使用するプリント</p> <p>3 ノート</p>
読む能力	<p>1 古典に表れた、作者や作中人物の思想や感情を的確に読み取ることができるか。</p> <p>2 古典に描かれた世界と現代を対比することで、共通点・相違点を認識しているか。</p>	<p>1 学習活動への参加の姿勢や態度</p> <p>2 授業の中で使用するプリント</p> <p>3 ノート</p>
知識・理解	<p>1 古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙点を認識しているか。</p>	<p>1 授業の中で使用するプリント</p> <p>2 定期考査</p> <p>3 ノート</p>

### 3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	古文編 1 説話・笑話 「醒醉笑」「伊曾保語」	・説話のもつおもしろさ、親しみやすさを音読を通じて理解します。 ・繰り返し音読することにより、語りもの文芸としての「平家物語」に親しみます。 ・平家一門の滅びを美的に描写している表現を理解します。 ・ 故事を通じて漢文に親しみます。 ・ 漢文訓読の基本事項を身に付けます。
		5	2 軍記 「平家物語」 漢文編 1 故事「韓非子」「後漢書」他	
	期 末	5	古文編 1 歌物語 「伊勢物語」他	・和歌を中心とした歌物語の特質を理解します。 ・古文に対する親近感を持ち、昔の人のものの見方、考え方を味わいます。 ・「伊勢物語」と比較することで、「大和物語」等の歌物語にも言及します。 ・複雑で不安定な当時の社会情勢に生きた人間たちの生き方を考えます。
		6	漢文編 1 史話 「十八史略」	
		7		
	2 学期	中 間	9	古文編 1 随筆 「方丈記」「徒然草」
10			漢文編 1 唐詩 「王維」「李白」「杜甫」他	
期 末		10	古文編 1 和歌 「百人一首」	・和歌の修辞法を理解し、和歌に込められた心情を読み取ります。 ・「土佐日記」の特質を理解し、日記の旅情を味わいます。 ・代表的な古典随筆を通して、作者清少納言の感性に触れます。 ・漢文に対する親近感を持ち、物語の面白さを味わいます。
		11	2 日記と随筆 「土佐日記」「枕草子」	
		12	漢文編 1 名文 「桃花源記」「雑説」	
3 学期		学 年 末	1	古文編 1 俳諧と俳論 「俳諧」「去来抄」
	2		漢文編 1 思想	
	3		「論語」「孟子」「荀子」他	
課題提出物等	1	授業の中で使用するプリントなど		
	2	ノート		

教 科	地理歴史	単 位 数	4	学 科	普通科	学 年	2	全 ／ 選	全
科 目	日本史 B								
使用教科書		高校日本史 B（実教出版）							
副 教 材 等		なし							

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連させて主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。
評 価 方 法	年間5回の定期考査を実施。 定期考査7割、平常点（ノート・提出物等）3割です。
生徒へのアドバイス	授業は講義を基本として、日本史の歴史的事実や事象について生徒が考え・発表する時間を設けながら展開します。意欲的態度で授業に参加することを要望します。

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	歴史的事実や現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する態度を身につけているか。	定期考査・ノート提出
思考・判断	歴史の事実や歴史の構造に問題を見出し、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考したりできるか。	定期考査・ノート提出
資料活用・表現	歴史的事実や歴史の構造について、自らの力で調べ、まとめることができるか。	定期考査・ノート提出
知識・理解	自ら調べた内容をもとに歴史的事実や歴史の構造について理解しているか。	定期考査・ノート提出

### 3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	第1章 文化と国家の形成 ・旧石器時代・縄文時代・弥生時代 ・邪馬台国・大和政権・倭の五王 ・氏姓制度	文字を知らない時代の歴史は、発掘による考古学の成果により解明されることを理解します。
		5	第2章 古代国家の形成 ・飛鳥時代・古代国家・律令の成立 ・平城京・奈良時代・国家仏教 ・平安初期の政治と文化・摂関政治 ・国風文化	飛鳥・奈良に古代の都が成立した意味を考えます。 古代国家が中国などとの関係の中で成立したことをとらえます。 古代国家の政治・経済・文化の特徴をとらえます。
	期末	6	第3章 中世社会の成立 ・土地制度・武士団・院政と保元 ・平治の乱・平氏政権・鎌倉幕府 ・承久の乱・地頭の荘園支配	在地の豪族が土地を守るため武装し、貴族に土地を荘園として寄進して保護を受ける荘園制が成立していく過程を考えます。
		7	・鎌倉の経済・元寇と幕府の衰退 ・鎌倉仏教・北条氏の専制と悪党	武士が次第に権力を獲得していく過程を考えます。
	2 学期	中間	9	第4章 中世社会の展開 ・建武の新政と南北朝の内乱・室町幕府 ・室町外交・北山文化・室町の経済 ・惣村と一揆・戦国大名・東山文化
10				
期末		10	第5章 統一政権の成立 ・大航海時代・織田信長・豊臣秀吉 ・対外政策・桃山文化・江戸幕府 ・幕藩体制・年貢と身分制 ・禁教と貿易統制	信長・秀吉の天下統一政策の特徴をとらえます。 家康の政権樹立過程をとらえます。徳川幕藩体制の特徴を理解します。 幕府の貿易政策と宗教政策の特徴を理解します。
		11	第6章 幕藩体制の展開 ・元禄・正徳の政治・江戸の経済 ・享保の改革・寛政の改革 ・文化文政期・天保の改革	幕府の三大改革のそれぞれの特徴と諸藩の改革の成果を理解します。
		12		
3 学期	学年末	1	第7章 大日本帝国の誕生 ・開国・尊王攘夷から倒幕へ・明治維新 ・大日本帝国憲法・日清戦争・日露戦争	新政府の基本政策の特徴を考えます。 大日本帝国憲法の制定過程と内容の特徴をとらえます。
		2	第8章 大日本帝国の展開 ・第1次世界大戦・満州事変・日中戦争 ・太平洋戦争・日本の敗戦	朝鮮や中国から日本への批判が強められているのはなぜか考えます。 15年戦争は何をもたらしたのか、敗戦の意味を考えます。
		3	第9章 日本国憲法と現代の世界 ・日本国憲法・日米安保・高度成長 ・21世紀の日本と世界	地球時代の日本について考えます。
課題提出物等 適宜課題を課します。ノート・プリント等の提出があります。				

教 科	数学	単 位 数	4	学 科	普通科	学 年	2	全 選	全
科 目	数学								
使用教科書	新版数学 （実教出版）								
副 教 材 等	数学 サブノート（実教出版）								

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	「数学」の内容を発展、拡充した式と高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考えについて理解し、「数学」への系統性を踏まえた基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てます。
評 価 方 法	1 中間考査、期末考査、小テスト、プリント及び課題、授業態度、出席状況、その他などで評価します。 2 学期及び学年の評価は、原則として中間考査と期末考査の成績で70%、その他の項目で30%の配分で評価します。
生徒へのアドバイス	・例題を参考に積極的に練習問題に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。 ・ノートは、単に板書を写すだけでなく、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。 ・例題等を参考とし積極的に練習問題等に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の体系を実数から複素数に拡張することによって、代数方程式が常に解を持つことを理解しているか。</li> <li>座標を用いて平面図形とそれを表す方程式や不等式の関係をとらえ、解法の有用性を理解しているか。</li> <li>指数・対数関数の考えを具体的な事象の考察に活用しているか。</li> <li>曲線で囲まれた面積を、微分や積分を用いて求めることを具体的な事象の考察に活用しようとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>授業で使用するプリント</li> <li>授業ノートの整理</li> <li>問題演習への取り組み</li> </ul>
数学的な見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>軌跡の方程式などを目的に応じて変形したり、条件を満たす点の置き換えをする意味を理解しているか。</li> <li>指数や対数の性質を学ぶことにより、極めて大きな数や小さな数の大小を調べる有用性を理解しているか。</li> <li>いろいろな関数の性質を用いて、具体的な事象へ応用することの有用性を認識しているか。</li> <li>微分が変化する量をとらえ、積分が平面図形の計量的なとらえ方に役立つことを理解しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、小テスト</li> <li>授業で使用するプリント</li> <li>質問に対する発表の内容</li> <li>演習問題プリント</li> </ul>
表 現 ・ 処 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式や不等式などの式を目的に応じて変形したり置き換えすることができるか。</li> <li>指数関数・対数関数・3次関数などのグラフを書くことができるか。</li> <li>グラフが条件を満たすとき、その関数を求めることができるか。</li> <li>微分や積分などを平面図形や空間図形の計量に利用できるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、小テスト</li> <li>授業で使用するプリント</li> <li>質問に対する発表の内容</li> <li>演習問題プリント</li> </ul>
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> <li>複素数の概念についての理解を深めているか。</li> <li>整式の除法で商と余り、因数定理による高次方程式の解法についての理解を深め、解が求められるか。</li> <li>点の座標や直線や円などの平面図形の方程式が求められるか。</li> <li>微分・積分の公式について理解を深め、それらが具体的に適用できることや活用について理解しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、小テスト</li> </ul>

### 3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1 章 複素数と方程式 1 節 整式の除法と分数式 1 . 整式の除法	・ 整式の割り算の意味を理解し、計算できるようにします。
		5	2 . 剰余の定理と因数定理 3 . 分数式	・ 分数式の約分、通分を学び、その四則計算ができるようにします。
	期 末	5	2 節 複素数と方程式 1 . 複素数	・ 数の範囲を複素数まで拡張し、その四則計算ができるようにします。
		6	2 . 2 次方程式 3 . 高次方程式	・ 2 次方程式の解と係数の関係や因数定理を利用した高次方程式の解法を理解します。
		7		
	2 学期	中 間	9	2 章 図形と方程式 1 節 点と直線 1 . 直線上の点 2 . 平面上の点 3 . 直線の方程式 4 . 2 直線の位置関係
10			2 節 円と方程式 1 . 円 の 方 程 式	・ 与えられた条件から直線の方程式を求められるようにします。
期 末		10	4 章 指数・対数 1 節 指数関数 1 . 指数の拡張	・ 与えられた条件から円の方程式を求められるようにします。
		11	2 節 対数関数 1 . 対数	・ 正の整数で指数法則を確認します。 ・ 指数を正の整数から有理数まで拡張し、指数計算ができるようにします。
		12		・ 対数の意味を理解し、簡単な計算ができるようにします。
3 学 年 末		学 年 末	1	5 章 微分・積分 1 節 微分法 1 . 平均変化率と微分係数 2 . 導関数
	2		2 節 微分法の応用 1 . 接線の方程式 2 . 関数の増減と極大・極小	・ 導関数を利用して、接線の方程式が求められるようにします。 ・ 増減表を利用して、グラフがかけられるようにします。
	3		3 節 積分法 1 . 不定積分 2 . 定積分 4 節 積分法の応用	・ 不定積分・定積分を定義し、整関数についての計算ができるようにします。 ・ 曲線と X 軸で囲まれた図形、2 曲線で囲まれた図形の面積を求められるようにします。
課題提出物等			春季休業中及び夏季休業中の課題。 必要に応じてノート及び授業中に使用したプリント等。	



教 科	理科	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	2	全 / 選	選
科 目	物理								
使用教科書		高等学校改訂新物理 （第一学習社）							
副 教 材 等									

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<p>1 基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけます。</p> <p>2 物理的な事物・事象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探求心を身につけます。</p> <p>3 物理の諸法則が如何に日常生活と関わり合っているのか、学びます。</p>
評 価 方 法	<p>1 中間と期末の定期考查、プリント、授業ノート、実験レポートなどの提出物、発表の仕方や内容、学習・実験活動への主体的な取り組み方で評価します。</p> <p>2 学期ごとの中間考查と期末考查の成績を 70%、提出物と学習活動へどれだけ主体的に取り組めたかを 30%の割合で配分し学期毎の成績とします。</p> <p>3 学期毎の成績を総合し、年間の学習成績とします。</p>
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの判断基準は、日常経験を通して得られたものです。この経験による判断が様々な偏見を作り出します。これを別の視点から見直し新しい自然観を造り出すのが物理です。どうか学習するにあたって公式の丸暗記ではなく、想像力を働かせて授業に臨んでください。</li> <li>・ノートは、板書をそのまま写すのではなく、自分なりに分かりやすく工夫をして記入をしたり、疑問を感じた点や追及したい事柄をメモしておくことで学習に広がりが生れます。</li> </ul>

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・物理的な事物・現象について関心・探求心をもち意欲的にそれらを探求するとともに、態度を身につけようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・実験レポート</li> <li>・授業中で使用したプリント</li> <li>・ノート</li> </ul>
思考・判断	・物理的な事物・現象の中に問題を見だし、実験・観察などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験レポート</li> <li>・授業中で使用したプリント</li> <li>・ノート</li> </ul>
観察・実験の技能・表現	・物理的な事物・現象に関する観察・実験の技能を修得するとともに、それらを科学的に探求する方法として身につけ、それらの過程や結果及びそこから導き出された考えを的確に表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験レポート</li> <li>・授業中で使用したプリント</li> <li>・ノート</li> </ul>
知識・理解	・観察・実験などを通して、物理的な事物・現象に対して、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考查</li> <li>・実験レポート</li> </ul>

### 3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	第 章 力と運動 第 1 節 物体の運動	・ 日常にみられる物体の運動の基本である速度について理解します。 ・ 直線上における速度の合成と分解、相対速度の公式を理解します。 ・ 等加速度運動を中心に加速度、速度、変位に関して公式とそのグラフを書けるようにします。 ・ 水平投射や斜方投射の 2 次元的な運動が、それぞれの成分に分けられ 1 次元の運動の組み合わせで表すことができることを理解します。
		5		
	期 末	5	第 2 節 力と運動の法則	・ 力の合成や分解について理解します。 ・ 慣性の法則について理解します。 ・ 運動の第 2 法則について理解します。 ・ 作用・反作用の法則を理解します。 ・ 摩擦力や弾性力、抵抗力について理解します。 ・ 物体に働く全ての力の求め方を学習します。 ・ さまざまな運動を、運動方程式を使って記述できるようにします。
		6		
		7		
2 学 期	中 間	9	第 章 エネルギー 第 1 節 仕事と力学的エネルギー  第 2 節 熱とエネルギー	・ 物理量としての仕事の意味を理解します。 ・ 仕事とエネルギーの関係を理解します。 ・ 力学的エネルギーが保存されることを理解します。 ・ 熱運動と熱、温度の関係について理解します。 ・ ジュールの実験から仕事と熱の関係について理解します。
		10		
	期 末	10	第 3 節 電気とエネルギー  第 章 電気 第 1 節 生活の中の電気	・ 電荷について学習し、電子の動きと電流の関係を理解します。 ・ オームの法則を使って、電流と電圧の関係を記述できるようにします。 ・ ジュールの法則やジュール熱を学習し、電流とエネルギーに関する法則性を理解します
		11		
		12		
3 学 年 末	学 年 末	1	第 章 波動 第 1 節 波の性質  第 2 節 音波  第 3 節 光波	・ 波とはどのような現象であるか理解します。 ・ ホイヘンスの原理を学習し、反射・屈折を説明できるようにします。 ・ 音の反射・屈折・回折・干渉のそれぞれの現象について、波の性質から説明できるようにします。 ・ 光の性質を、光が横波であることから説明できるようにします。
		2		
		3		
課題提出物等		1 授業の中で使用するプリント 2 授業ノートを指定された時期に提出 3 実験レポート (1)提出期限厳守して下さい。 (2)データの処理、考察、調べたことをまとめて提出します。		

教 科	理科	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	2	全 ／ 選	選
科 目	生物								
使用教科書	新編 生物 （東京書籍）								
副 教 材 等									

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 広い視野から多種多様な生物とその生物現象に興味・関心を持ち、そこから新たな疑問点を見出すことで生物についての理解を一層深めます。 2 観察，実験を通して探求する能力と科学的な自然観を身に付けます。 3 基本的な概念や原理・法則を理解します。
評 価 方 法	中間と期末の定期考査の成績で70%，課題，実験レポート，授業ノート，プリント等の提出物，その他，授業への取り組みを含めて30%の配分で総合的に判断して行います。
生徒へのアドバイス	・1回ごとの授業を大切に，授業を通して，生物についての科学的な見方や考え方ができるように自分の学習目標を設定しましょう。 ・教師の発問には積極的に答えてください。 ・不明な点や疑問があったら質問や意見を出してください。

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・自然の事物・現象に関心を持ち，意欲的に授業に参加し取り組んでいるか。 ・教師の発問に対して，意欲的に答えているか。・授業態度は良好か。	・授業への参加の仕方や態度 ・ノート，プリント，レポートの内容及び提出状況 ・ノート，プリントの活用状況及び記入状況
思考・判断	・自然界の現象に関して，様々な観点から考察を加え，論理的に考えることができるか。 ・客観的な事実に基づいて生物現象を科学的に判断することができるか。	・定期考査の記述式問題。 ・レポートの内容 ・授業で使用するプリントの記入状況 ・発表の内容や仕方
観察・実験の技能・表現	・観察，実験の方法や実験器具の操作を理解して正しく行う能力を身につけたか。 ・自然界の生物現象について科学的に探究する方法を身につけたか。 ・実験，観察の結果を的確に表現することができるか。	・定期考査での観察，実験に関する問題 ・レポートの内容 ・授業で使用するプリントの記入状況 ・発表の内容や仕方 ・実験器具の操作や方法
知識・理解	・自然の事物・現象における原理 ・法則などの基本的な知識や考え方を理解しているか。 ・観察，実験の目的や実験の原理などを理解しているか。	・定期考査 ・ノート，プリントの活用状況及び記入状況 ・レポートの内容

### 3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1 細胞から個体へ (1) 細胞のはたらきと構造	生物のからだは細胞からできていること、及び細胞のはたらきと構造について理解します。
		5		細胞における物質の出入りは、細胞膜を通して行われ、化学反応は酵素のはたらきであることを理解します。
	期 末	5	(2) 細胞分裂	染色体に遺伝情報があり、生物の種類によって染色体の形状と数が異なることを理解します。
		6		体細胞分裂の仕組みについて、及び細胞が特定のはたらきをもつように変化する分化について理解します。
		7	(3) 生物のからだと細胞	単細胞生物、多細胞生物の存在、及び組織、器官といった様々な細胞の集まりがあることを理解します。
2 学期	中 間	9	2 遺伝 (1) メンデルの実験と遺伝の法則	優性の法則、分離の法則を一遺伝子雑種、二遺伝子雑種を通して理解します。
		10		いろいろな様式の遺伝があるが基本的にはメンデルの法則従うことを理解します。
	期 末	10	(2) 連鎖と染色体地図 (3) 性と遺伝	連鎖、組換え、染色体地図及び性の決定と伴性遺伝について理解します。
		11	(4) 遺伝子の本体	遺伝子の本体及びその構造を過去の実験例等から考察し、DNAであることを理解します。
		12	3 生殖と発生 (1) 生殖	無性生殖と有性生殖の違いと、減数分裂の仕組みについて理解します。
3 学 年 期 末	学 年 末	1	(2) 動物の発生としくみ (3) 発生のしくみ	配偶子の形成と受精、及び初期発生について観察を通して理解し、発生のしくみについて考察します。
		2	(4) 植物の発生としくみ 4 環境と動物の反応 (1) 内部環境とその恒常性	植物の発生について理解します。 内部環境の調節と生態防御について理解します。
		3		自律神経とホルモン及びその協調の調節により恒常性が保たれていることを理解します。
課題提出物等		・授業プリント ・授業ノート ・問題集 ・実験 ・観察レポート		

教 科	保健体育	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	2	全 / 選	全
科 目	体育（男子）								
使用教科書		現代保健体育（大修館）							
副 教 材 等									

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実戦を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のために実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊で活力のある生活を営む態度を育てます。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7割を一般体育、3割を武道で評価します</li> <li>・ 実技だけではなく、出欠席や態度・服装等も考慮します。</li> </ul>
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しっかりとした服装で、積極的に授業に参加します。</li> <li>・ 行動を機敏にし、安全に配慮します。</li> <li>・ 仲間との交流を深め自己表現能力を高めてください。</li> <li>・ 遅刻・欠席・見学はできるだけ避けてください。</li> </ul>

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、工夫している	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付ける	授業での態度の観察 スキルテストや記録会の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義等の基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける	授業での態度の観察 個人カードの記述の読み取り

### 3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	体育：オリエンテーション／ 体育理論／体づくり運動 柔道：オリエンテーション・礼法 基礎体力 剣道：オリエンテーション・礼法 心得・体さばき	年間の概略を知ります。／体力の高め方について理解します。／体力を高める運動を行います。 年間の概略を知ります。礼法を身につけ、基礎体力をつけます。 年間の概略を知ります。礼法や心得身につけ、体さばきを習得します。
		5	体育：体づくり運動 器械運動 柔道：受け身 剣道：構え・素振り	体力を高める運動を行います。 自己の能力を知り、基本技を身につけます。 各種受け身を習得します。 構えや素振りを定着します。
	期末	5	体育：器械運動 柔道：投げ技・打ち込み 剣道：防具装着・基本動作	マット運動の基本技を連続して行えるようにします。 基本動作を習得します。 基本動作を習得します。
		6	体育：器械運動・評価／水泳 柔道：投げ技・打ち込み 剣道：防具装着・基本動作	発表会を行います。／試しの記録会を行います。 基本動作を習得します。 基本動作を習得します。
		7	体育：水泳 柔道：約束練習・評価 剣道：評価	各泳法を身につけ、記録を向上させます。 既習の技で約束練習、実技試験をします。 実技試験をします。
2 学期	中間	9	体育：水泳・評価／体育理論 柔道：受け身・投げ技 剣道：基本動作	評価します。／スポーツの歴史や文化について学びます。 投げ技を習得します。 基本動作を習得します。
		10	体育：ソフトボール 柔道：固め技 剣道：対人技能	基本技能を習得します。 固め技を習得します。 技の特性を理解します。
	期末	10	体育：ソフトボール 柔道：約束練習・連続技 剣道：二・三段練習	ゲームができるようにします。 各技を約束練習で発揮します。 技の特性を理解します。
		11	体育：ソフトボール・評価 バレーボール 柔道：約束練習・連続技 剣道：払い技・引き技	実技試験を行い、評価をします。 基本技能を習得します。 各技を約束練習で発揮します。 技の特性を理解します。
		12	体育：バレーボール 柔道：乱取り練習・評価 剣道：出ばな技・評価	基本技能を習得します。ゲームができるようにします。 実技試験を行います。 実技試験を行います。
3 学期	学 年 末	1	体育：バレーボール・評価 陸上競技（中長距離走） 柔道：約束練習 剣道：対人技能・体当たり技	ゲームができるようにします。実技試験を行います。 自己の能力を把握します。 約束練習で既習技が発揮できるようにします。 技の特性を理解します。
		2	体育：陸上競技（中長距離走） 柔道：乱取り練習・試合 剣道：審判法・試合	自分の能力にあったペース配分で走れるようにします。 乱取りで既習技が発揮できるようにします。 審判法を学びます。試合をできるようにします。
		3	体育：陸上競技・評価 柔道：評価 剣道：評価	タイムトライアルを行います。 試合を行い、評価をします。 試合を行い、評価をします。
課題提出物		体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。		

教 科	保健体育	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	2	全 / 選	全
科 目	体育（女子）								
使用教科書		現代保健体育（大修館）							
副 教 材 等									

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実戦を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のために実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊で活力のある生活を営む態度を育てます。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7割を一般体育、3割をダンスで評価します</li> <li>・ 実技だけではなく、出欠席や態度・服装等も考慮します。</li> </ul>
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しっかりとした服装で、積極的に授業に参加してください。</li> <li>・ 行動を機敏にし、安全に配慮してください。</li> <li>・ 仲間との交流を深め自己表現能力を高めてください。</li> <li>・ 遅刻・欠席・見学はできるだけ避けてください。</li> </ul>

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、工夫している	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付ける	授業での態度の観察 スキルテストや記録会の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義等の基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける	授業での態度の観察 個人カードの記述の読み取り

### 3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	体 育：オリエンテーション / 体育理論 / 体づくり運動 ダンス：オリエンテーション 体ほぐし・レクダンス	年間の概略を知ります。 / 体力の高め方について理解します。 / 体力を高める運動を行います。 年間の概略を知ります。 心身をほぐし、コミュニケーションを深めます。
		5	体 育：体づくり運動 陸上競技 ダンス：レクダンス・基礎理論 フォークダンス	体力を高める運動を行います。 自己の能力を知ります。 心身をほぐし、コミュニケーションを深めます。 動きを覚える。理論を理解します。
	期末	5	体 育：陸上競技 ダンス：ほぐし・レクダンス フォークダンス・評価	フォームを見直し、短距離走の記録を高めます。 既習のダンスに習熟し、堂々と踊ります。
		6	体 育：陸上競技・評価 水泳 ダンス：ほぐし・フォークダンス 現代的リズムダンス	リレーの特性を知り、記録を高めます。 試しの記録会を行います。 動きを覚えて、リズムに乗って踊ります。
		7	体 育：水泳 ダンス：現代的リズムダンス・評価	各泳法を身につけ、記録を向上させます。 動きを習熟させ、堂々と踊れるようにします。
2 学期	中間	9	体 育：水泳・評価 体育理論 ダンス：現代的リズムダンス	評価します。 スポーツの歴史や文化について学びます。 カウントがとれる創作の見通しを立てます。
		10	体 育：バレーボール ダンス：現代的リズムダンス	基本技能を習得します。 発表会に向けて、現代的リズムダンスを創作します。
	期末	10	体 育：バレーボール ダンス：現代的リズムダンス 発表・鑑賞	ゲームができるようにします。 躍り込みと鑑賞方法を理解します。 鑑賞ノートに記入します。
		11	体 育：バレーボール・評価 テニス ダンス：創作ダンスの習熟と表現	ゲームができるようにします。実技試験を行います。 基本技能を習得します。 テーマに合ったポーズとその変化・発展をさせます。
		12	体 育：テニス ダンス：動きの記憶・定着・評価	ゲームができるようにします。 表現した動きを定着させ、堂々と踊れるようにします。
3 学期	学 年 末	1	体 育：テニス・評価 陸上競技（中長距離走） ダンス：小作品の創作	ゲームができるようにします。実技試験を行います。 自己の能力を把握します。 仲間と創作の見通しを立て、動きを創ります。
		2	体 育：陸上競技（中長距離走） ダンス：小作品の創作	自分の能力にあったペース配分で走れるようにします。 動きをつくり、作品を完成させます。
		3	体 育：陸上競技・評価 ダンス：鑑賞ノート記入・評価	タイムトライアルを行います。 作品を堂々と発表するとともに、鑑賞力をつけます。
課題提出物	体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。			



教 科	保健	単位 数	1	学 科	普通科	学 年	2	全 ／ 選	全
科 目	保健体育								
使用教科書		現代保健体育（大修館）							
副 教 材 等		現代保健ノート（大修館）							

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。
評 価 方 法	考査の成績や提出物、出席状況、授業への取り組み等を考慮して評価します。
生徒へのアドバイス	自らが健康な生活を実践したり、心の健康にも配慮したりする等、日常生活の中で健康を意識し、欠席・遅刻・早退等をしないですむようにしてください。

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	授業への参加意欲の観察 個人やグループのノートの読み取り テスト
思 考・判 断	個人生活や社会生活における健康・安全について課題の解決を目指して考え、判断している。	授業への参加意欲の観察 個人やグループのノートの読み取り テスト
知識・理解	個人生活や社会生活における健康・安全について課題解決のための事項を理解し知識を身に付けている。	授業での態度の観察 個人やグループのノートの読み取り テスト

### 3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	2 単元：生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択	思春期の体の発達等の特徴を理解します。 性意識の男女差や性行動選択の影響を理解します。
		5	3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康	健康な結婚生活を営むための留意点を理解します。 受精・妊娠・出産の過程とその間の健康について理解します。
	期 末	5	5 家族計画と人工妊娠中絶	家族計画の意義と避妊法を理解します。 人工妊娠中絶の条件と心身への影響を理解します。
		6	6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的と りくみ	加齢に伴う心身の変化と健康な生活を営むための留意点を理解します。 高齢者の生活や健康に関する現状と、高齢化社会への対応を理解します。
		7	8 保険制度と保健サービスの 活用 評価	保健行政の役割としくみ及びその活用法を理解します。 1 学期末考查
2 学 期	中 間	9	9 医療制度と医療費 10 医療機関と医療サービスの 活用	医療保険・医療費のしくみを理解します。 医療機関の選び方や医療機関・医師からの情報の引き出し方を理解します。
		10	3 単元：社会生活と健康 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁と健康	大気汚染のおこり方や影響を理解します。 水質汚濁のおこり方や影響を理解します。
	期 末	10	3 土壌汚染と健康	大気汚染のおこり方や影響を理解します。
		11	4 健康被害の防止と環境対策 5 環境衛生活動のしくみと働 き	4 健康被害の防止と環境対策 5 環境衛生活動のしくみと働き
		12	6 食品衛生活動のしくみと働 き 評価	食品の衛生管理のための、行政・製造・生産者の対策を理解します。 2 学期末考查
3 学 期	学 年 末	1	7 食品と環境の保健と私たち 8 働くことと健康	食品の安全確保のための対策を理解します。 労働と健康の相互の影響と、労働者の健康問題の変遷を理解します。
		2	9 労働災害・職業病と健康 10 健康的な職業生活	労災の防止対策と職場の健康管理の必要性を理解します。 職場の健康増進対策を理解します。
		3	1 年間のまとめ 評価	1 年間の学習活動をまとめる 学年末考查
課題提出物等	各種レポート			

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	2	全 / 選	選
科 目	音楽								
使用教科書	音楽 T u u t i 改訂版（教育出版）								
副 教 材 等									

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 音楽に対する興味、関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む姿勢を身につけます。 2 音楽1を基礎に音楽をととして自己表現する能力を養います。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を70%、学習活動への参加の仕方や態度を30%として行います。
生徒へのアドバイス	1 遅刻・欠席をしないでください。 2 楽器、楽譜などは常に大切に扱ってください。 3 毎時間に授業は積極的に参加してください。

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 音楽上の幅広いジャンルに対して興味関心を高めているか。 2 意欲的に楽曲演奏に取り組むと共に、鑑賞教材の視聴等における集中力の維持、アンサンブルにおける他パートとの協調性や積極性などが保たれているか。	・演奏活動への参加の仕方や態度 ・プリント、ノート等の提出状況
芸術的な感受や表現の工夫	1 楽曲の特質を知ったうえでそれが生み出す曲想や美しさを感じ取って、表現の工夫をしているか。	・実技テストの内容 ・演奏発表の内容 ・授業時の練習の態度や工夫
創造的な表現の技能	1 楽曲から感じ取ったイメージを創造的に表現する技能を身につけているか。 2 楽譜に示された記号や標語の意味を把握し、それらが示している曲想を感じ取り表現する技能を身につけているか。	・実技テストの内容 ・授業時における表現方法
鑑賞の能力	1 鑑賞教材の演奏法、楽器の特徴、構造を理解して聞き取っているか。	・鑑賞ノートの内容 ・授業時における鑑賞態度

### 3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Tomorrow</li><li>・ 小さな空</li><li>・ どじょっこ ふなっこ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 手軽な輪唱をもとにハーモニーの楽しさを味わいます。</li><li>・ 詩と曲の楽しさを味わいます。</li></ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 沖縄の音楽、音階について</li><li>・ 谷茶前</li><li>・ 花～すべての人のところに花を</li><li>・ 涙そうそう・島唄</li><li>・ おお ひばり（2部）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 10月に沖縄に修学旅行に行きます。その前に沖縄の音楽や楽器に触れさせ、興味を持たせます。</li><li>・ 簡単なハーモニーはすぐ出来るようにします</li></ul>
	期末	5	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 沖縄と三線・三線の歴史について</li><li>・ かんから三線の製作</li><li>・ 三線の音階，調弦</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 三線の音や沖縄音楽に興味を持っているか確認します。</li><li>・ 調弦がうまく出来るようにします</li></ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 三線の演奏&lt;チューリップ&gt; 　　&lt;きらきら星&gt;</li><li>・ タブ譜を使って涙そうそう、花の弾き語り</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 積極的に練習しているか確認します。</li><li>・ タブ譜の読み方を理解します。</li></ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実技テスト（三線）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 楽器演奏態度、実技評価</li></ul>
2 学期	中間	9	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Trianguie</li><li>・ 風になりたい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 沖縄出身のシンガーソングライターの曲を力強く歌い上げ、仲間とともに感動を分かち合います。</li></ul>
		10	<ul style="list-style-type: none"><li>・ キーボードアンサンブル</li></ul> 教則本や月刊誌から自分で好きな曲を選び、2人から3人のグループでアンサンブル	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 選曲の段階から個性を出し、友人とアンサンブルする喜びを見いだしているかを評価します。</li></ul>
	期末	10	<ul style="list-style-type: none"><li>・ キーボードアンサンブル</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各グループの目標にむかって演奏しているか確認します。</li></ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"><li>・ キーボードアンサンブル</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各グループでお互いを聞き合う演奏が出来ているか、個々の力が付いているかどうかを確認します。</li></ul>
		12	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 発表会形式テスト</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各自努力し、工夫があるか</li><li>・ 恥ずかしがらず堂々と自己表現出来たかを評価します。</li></ul>
3 学期	学 年 末	1	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 愛の賛歌</li><li>・ 枯れ葉・オンブラ・マイフ</li><li>・ つゆ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 独唱曲と共に声を出す喜びを感じているかを確認します。</li><li>・ 教科書の3部合唱をこなします。</li></ul>
		2	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Amazinngu grace</li><li>・ ドラムの説明及び2ビート4ビート ワルツ 8ビートの練習</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ゴスペルのリズムに乗って歌えるようにします。</li><li>・ 初心者でも8ビートまでのドラムが叩けるようになったか確認します。</li></ul>
		3	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ドラムテスト</li><li>・ 音楽理論テスト</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 経験者、初心者ともにどれだけ出来るようになったかを評価します。</li><li>・ 音楽2を通して自己表現がうまく出来るようになったか評価します。</li></ul>
課題提出物等			<ul style="list-style-type: none"><li>・ 毎回いろいろなCDやDVD鑑賞します。その感想は毎回提出し、プリントと共に平常点で評価します。</li></ul>	

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	2	全 ／ 選	選
科 目	美術								
使用教科書		美術 2（光村図書出版）							
副 教 材 等									

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	美術の創造活動を通して、美的感覚を洗練し、表現と鑑賞の能力を高めるとともに、美術文化について、その歴史的、文化的な意味と価値を理解し、生涯美術を愛好する心情を育てます。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を 70%、学習活動への参加の仕方や態度を 30%として行います。
生徒へのアドバイス	あくまでも生徒が主体です。全員が一同に意欲的に創作活動ができるように、常に実技試験のつもりで授業を進めていきます。

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	美術に関心を寄せ、意欲的に学習活動に取り組み行動ができる。	学習活動への参加の仕方や態度。
芸術的な感受や表現の工夫	題材のテーマをよく理解しているか。テーマに合った形、色、構成などをよく考えて、独自の工夫をして表現している。	提出作品
創造的な表現の技能	課題に対して感性や想像力を働かせて効果的な表現ができる	授業への取り組み。
鑑賞の能力	一人一人が自己の作品のみならず、他人の作品に対しても良さや美しさを味わい、自己の考えを率直に述べるができる。	鑑賞の態度および発表。

### 3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	( 1 ) 木彫 ・アイデアスケッチ	・木材を理解し立体感覚を養い、加工方法を身に付けます。
		5	・下絵制作	・過去の彫刻の作品を鑑賞し理解します。
	期 末	5	・転写	・彩色の方法と配色の美しさを学習します。
		6	・加工	
		6	・彩色	
		7	( 2 ) 鑑賞	・仕上がった作品を観ながら、お互いのよいところなどの感想を述べ合い鑑賞します。
2 学期	中 間	9	( 3 ) レザークラフト ・下絵制作	・皮革という材料を学び、加工方法を体験し作品を仕上げます。
		10	・転写	・加工することによって生活用具の皮革製品に思いをはせます。
	期 末	10	・加工	
		11	・彩色	
		12	( 4 ) 鑑賞	・仕上がった作品を観賞し、お互いのよいところなどの感想を述べ合い鑑賞します。
3 学期	学 年 末	1	( 5 ) 切り絵 ・下絵制作 ・転写 ・切削	・白と黒の画面の美しさや立体感の表し方を学習します。 ・バランスの取り方を理解します。 ・細密な作業を体験し感覚を養います。
		2		
		3	( 6 ) 鑑賞	・仕上がった作品を観賞し、お互いのよいところなどの感想を述べ合い鑑賞します。
課題提出物等		・教材を用意。 ・決められた期日までに作品提出。		

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	2	全 ／ 選	選
科 目	書道								
使用教科書		新編 書道 （教育出版）							
副 教 材 等		基本ペン習字（教育図書）							

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 書道における創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てます。</li> <li>2 書を楽しむ態度を通して、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深めます。</li> <li>3 1と2の学習を通して、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし書の美に親しむ心を養っていきます。</li> </ol>
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を70％，学習活動への参加の仕方や態度を30％として行います。
生徒へのアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 書道の学習においては、まずよく見るのが大切です。自らの感性に基づき対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。</li> <li>2 技法の習得は主として古典の臨書によりますが、ただ枚数を重ねるのではなく1枚1枚、1字1字について「何が出来るようになったか」を大切にします。1時間の中での進歩，単元を通しての進歩，そして，1年間の学習を通しての進歩が感じとれるような学習への取組を期待します。</li> </ol>

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・書を愛好し，さまざまな書に幅広く関心をもち，意欲的，主体的に活動を行い，その喜びを味わおうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・作品ファイルの整理状況</li> <li>・小テスト</li> <li>・創作カード</li> </ul>
芸術的な感受や表現の工夫	・感性を豊かにし，古典のよさや美しさを感じ取り，創造的な表現を工夫しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品</li> <li>・ファイルの整理状況</li> <li>・創作カード</li> </ul>
創造的な表現の技能	・さまざまな書を通して，自己を主体的に表現する能力を伸ばし，実用的な表現や芸術的な表現の技能を高めているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品</li> <li>・作品ファイル</li> </ul>
鑑賞の能力	・書が生活の中で果たしている役割，書の文化や伝統を幅広く理解し，そのよさや美しさを深く味わっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・ファイルの整理状況</li> <li>・創作カード</li> <li>・発表</li> </ul>

### 3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	1 篆書の学習 ・ 様々な篆書 ・ 篆書の特徴	<p>代表的な篆書の古典を鑑賞し、それぞれの古典について時代背景などの知的理解を経て、書体や書風に即した用筆・運筆，字形や全体構成を学び、あわせて日常生活に使用されている例などを考え、篆書の特徴を理解します。</p> <p>篆書の学習をふまえて、自分の氏名を篆書体で石に刻します。字形の美しさや全体構成，線の切れ味も大切に刻します。</p> <p>完成した印は、2 学期以降で作成する作品に押印します。</p>
		5	・ 泰山刻石 ・ 金文 2 篆刻の学習	
	期末	6	・ 印稿 ・ 布字 ・ 運刀 ・ 押印、補刀	
		7	・ 完成	
	2 学期	中間	9	
10			草書の古典 ・ 書譜 ・ 十七帖	
期末		11	・ 創作 7 仮名の学習 ・ 連綿と変体仮名	
		12	同上	
3 学期		学年末	1	・ 高野切第一種 ・ 三色紙
	2		8 漢字仮名交じりの書の学習 ・ 様々な表現 ・ 古名跡に学ぶ表現 ・ 様々な表現の工夫	
	3		・ 創作	
課題提出物等	1 原則として、毎時間作品を完成させます。 2 授業中に完成させた作品をファイルします。 3 学期に2 回程度実技試験（清書）を行います。 4 創作は、創作カードに基づいて行います。			



教 科	外国語	単位 数	4	学 科	普通科	学 年	2	全 / 選	全
科 目	英語								
使用教科書		Vivid English Course I ・ II New Edition （第一学習社）							
副 教 材 等		教科書 Workbook （第一学習社） SEED English Grammar （文英堂）							

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	言語や文化に対する理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、国際社会に生きる日本人として必要とされる基本的な読み書きを中心とした英語運用能力を養成します。
評 価 方 法	原則として各学期に行われる定期考查の得点で7割、日常の学習における課題の提出、授業への取り組み姿勢、小テストなどで3割の総合評価とします。
生徒へのアドバイス	英語の学習には地味な反復学習が欠かせないので、日々の授業にはしっかり取り組み、きちんとノートをとる習慣を確立して下さい。また、苦手であっても取り組みもうとする意欲を常に持ち、向上心を持って努力して下さい。

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと授業に出席しているか。</li> <li>・授業にしっかり取り組んでいるか。</li> <li>・ノートをしっかりとっているか。</li> <li>・課題をきちんと提出しているか。</li> <li>・自分で予習をしようと努力しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況の確認</li> <li>・授業中の態度の観察</li> <li>・ノートの提出チェック</li> <li>・課題の提出チェック</li> <li>・予習内容の発表</li> </ul>
読む能力	・教科書の英文内容を理解し、適切な日本語にまとめられるか。また、前後関係を把握し、文中の指示語や省略された表現の内容が理解できるか。	・主として各学期の定期考查の中で、これに該当する問にきちんと答えられるかどうかで確認
書く能力	・教科書で扱われている文法事項に対し、その原理を理解し、自分のものとして活用できるようになっているか。	・主として各学期の定期考查の中で、これに該当する問にきちんと答えられるかどうかで確認
語彙能力	・文中に次々に登場する未修得の語句を、その都度自分で練習して覚える努力をしているか。また、それぞれの語句の正しい発音を覚えているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発問に対する応答状況</li> <li>・授業中の小テスト</li> <li>・定期考查の中での発音問題</li> </ul>

### 3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	Vivid English Course I Lesson 7 African Eve: Mother of Human beings	・科学的な文章を読むことに慣れます。 ・SVO構文・関係代名詞・現在完了進行形に習熟します。
		5	Lesson 8 Everybody Is Different	・「共生」の意味を考えて読みます。 ・関係代名詞・It is ... that ...の2通りの用法・関係副詞に習熟します。
	期末	5	Lesson 8 Everybody Is Different	
		6	Vivid English Course II Lesson 1 A Third Gold Medal as a Mother	・柔道選手の不屈の精神を読みます。 ・不定詞の副詞的用法・倒置の構文・付帯状況の構文に習熟します。
		7	Lesson 1 A Third Gold Medal as a Mother	
2 学期	中間	9	Lesson 2 1000 Winds and 1000 Cellos	・震災復興支援に関する文を読みます。 ・完了形の受動態・seem to ... , It seems that ...の構文に習熟します。
		10	Lesson 2 1000 Winds and 1000 Cellos	
	期末	10	Lesson 3 Saving Native Tongues	・言語の保存継承の意義を考えます。 ・SVCの構文・関係代名詞と前置詞・進行形の受動態に習熟します。
		11	Lesson 3 Saving Native Tongues Lesson 4 Looking for New Adventures	・冒険家のチャレンジ精神に触れます。 ・部分否定・関係代名詞の非制限用法に習熟します。
		12	Lesson 4 Looking for New Adventures	
3 学期	学年末	1	Lesson 5 Ouch! Slap!	・科学的な文を読むことに慣れます。 ・関係副詞の非制限用法・仮定法過去・助動詞＋完了形に習熟します。
		2	Lesson 5 Ouch! Slap! Lesson 6 Selling a Product	・商品広告が与える影響について読み取ります。 ・分詞構文・文全体を修飾する不定詞や副詞の用法に習熟します。
		3	Lesson 6 Selling a Product	
課題提出物等		1	学習の進度に応じてノートの提出	
		2	随時プリントなどの提出	

教 科	家 庭	単位 数	2	学 科	普通科	学 年	2	全 ／ 選	全
科 目	家庭総合								
使用教科書		家庭総合 生活に豊かさをもとめて（第一学習社）							
副 教 材 等		家庭総合学習ノート（第一学習社）							

## 1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	食生活、次世代を育む生活、住生活などに関する知識と技術を総合的に習得し、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につけます。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査（中間もしくは期末考査・実技テスト）・・・ 50～60%</li> <li>・ プリント・ノート提出・授業態度・意欲・調理実習の取り組み・ 40～50%</li> <li>・ 定期考査と実習、プリント・ノートの提出物、授業態度を総合して評価します。</li> <li>・ 特に実技を伴う教科ですので、授業や実習へ取り組む態度を大切にします。</li> </ul>
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義、実習など様々な形態の学習活動を行いますので、積極的に授業に取り組むとともに、毎時間の授業を大切にしてください。</li> <li>・ 学校での学習が日常の生活に活かせるようにすることが大切です。</li> <li>・ プリント・ノートの提出物は、完成を目指して期限までに提出してください。</li> </ul>

## 2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食生活、住生活、次世代を育む生活について関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組んでいるか。</li> <li>・ 実践的な態度を身につけているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・ 授業の中で使用するプリント</li> <li>・ 授業ノート（学習ノート・板書用ノート）</li> <li>・ 調理実習の作品</li> </ul>
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食生活、住生活、次世代を育む生活を理解し、課題を見つけられるか。</li> <li>・ 課題の解決を目指し、適切に判断できる力を身につけているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業で使用するプリント</li> <li>・ 授業中の意見や考えの発表内容や仕方</li> <li>・ 定期考査の記述問題の内容</li> </ul>
資料活用 の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食生活、住生活、次世代を育む生活を充実・向上させるために必要な基礎的・基本的な技術を身につけているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の中で使用するプリント</li> <li>・ 授業中の発表の内容や仕方</li> <li>・ 定期考査の記述問題の内容</li> <li>・ 実習での技術評価</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 実技テスト</li> </ul>

### 3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	2 年次の学習内容・学習の方法について 第 5 章 食べる ( 1 ) 人と食生活 ( 2 ) 栄養と食品 1・栄養素と食品 ( 炭水化物 )	家庭総合 2 年次の授業の内容や進め方、 評価方法について確認します。  人間と食べ物とのかかわり、食事の意義に ついて考えます。また、各自の食の問題点 をまとめ、その原因を考え、改善につな がるようにします。 そのためには、食品の栄養的特質を理解 したうえで、年齢にあった食品のバラン スや分量など適切な食事が考えられるよ うにします。 また、実際に食事づくりができるように なるための基本的な知識・技術を学び、調 理実習に生かすことができるようにしま す。さらには家庭での応用を目標とし、調 理実習に取り組みます。 日本の食料事情を理解し、食の安全性に ついて考えます。また、どのような食品を 選ぶことがよいのか、購入基準とその保 存方法についても考えられるようにしま す。
		5	1・栄養素と食品 ( 蛋白質～ビタミン ) 2・嗜好的な食品、加工食品 3・何をどれだけ食べればよいか？ 4・食品群と摂取量のめやす ( 5 ) 献立と調理 3・調理の基本	
	期 末	5	( 5 ) 献立と調理 2・食事づくりの手順	
		6	調理実習 ( 3 回位実施予定 )	
		7	1・食事の計画	
	2 学期	中 間	9	
10			2・表示を見て食品を選ぶ 調理実習 ( 2 回位実施予定 )	
期 末		10	調理実習 ( 2 回位実施予定 ) 第 2 章 育つ・育てる ( 1 ) 子どもの発達 1・胎児は母体とともに 2・子どもの心身の発達	
		11	3・子どもの成長と保育環境 4・生活習慣と遊びによる発達 ( 2 ) 親の役割と保育 1・親と子 とともに育ちあう関係	
		12	2・親と子のかかわり	
		1	3・家庭保育と集団保育 ( 3 ) 子どもの福祉	
3 学期	学 年 末	2	第 7 章 住まう ( 1 ) 人間と住まい ( 2 ) 健康と住まいの科学 ( 3 ) 住生活の管理と安全	住居の機能や人間と住まいの関わりにつ いて考え、健康で衛生的な室内環境の要 因について理解します。また、日本の住 宅事情や最近の問題点を理解し、これか らの住居は自然環境や社会環境と関連づ けていくことが大切であることを理解し ます。
		3	( 4 ) 住生活と環境	
課題提出物等 ・授業ノートやプリントの提出物は、いずれも完成させて期日までに提出することを目指して全員が 取り組んでいきます。 ・年間調理実習代として 2 0 0 0 円を徴収させていただきます。( 年 7 回位実施予定 ) ・調理実習では 1 学年で製作したエプロンを使用します。				